

BWAの更なる高度化

～キャリアアグリゲーションの技術的条件について～

2013年2月21日

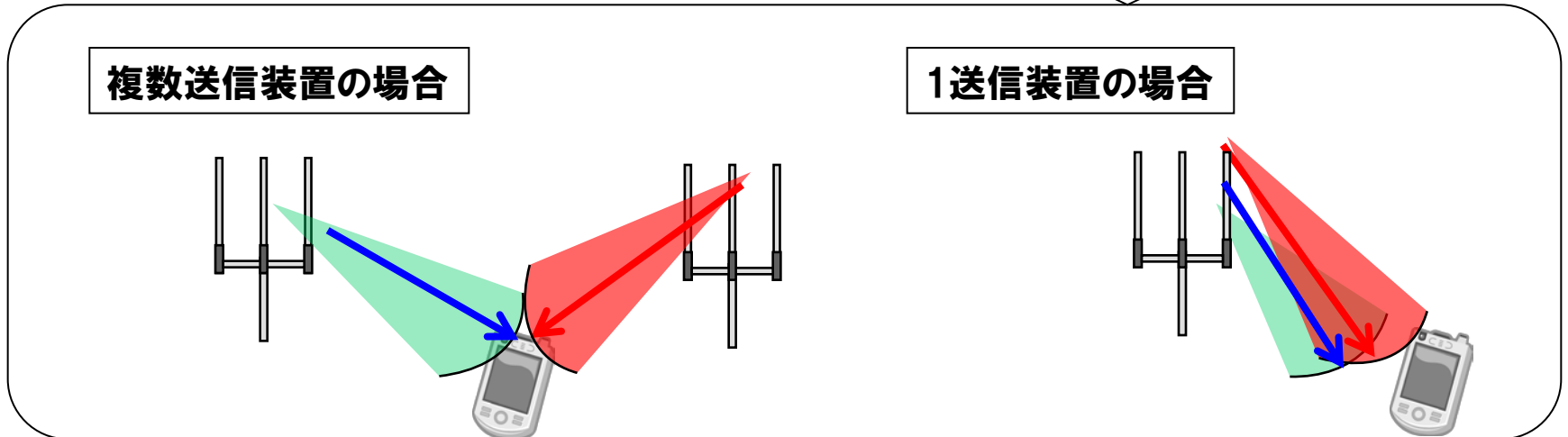
WIRELESS CITY PLANNING 

BWAで検討対象となるキャリアアグリゲーションの形態

◆アグリゲート数 (キャリア数)



◆下りの送信形態 (送信装置数)



検討状況：上り1波のみの場合のCA

◆上り(端末)の技術条件

現状の技術的条件の範囲内で可能と想定
(測定法も特に変更なし)

◆下り(基地局)の技術条件

・複数送信装置の場合

それぞれの送信装置がそれぞれの技術基準を満たすことで
現状の技術的条件の範囲内で可能と想定
(測定法も特に変更なし)

・1送信装置の場合

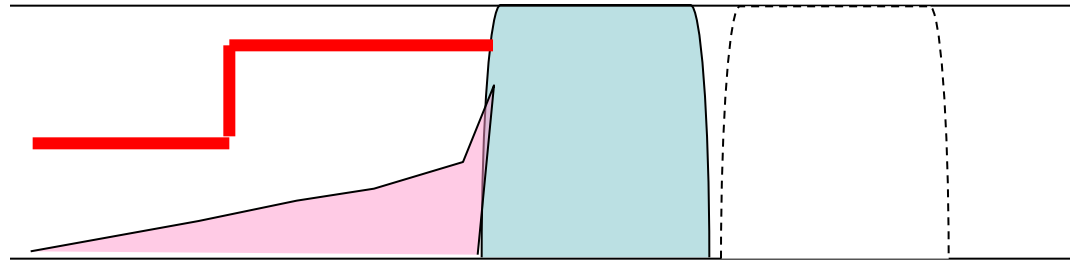
複数波の通信を同時に行っても1波時の、
技術条件を満たすことが出来れば、実現可能と想定
(ただし測定法の整理が必要→次頁参照)

1送信装置の場合のCA:BWA帯域外

◆1波送信時(現状)

1波時の技術条件

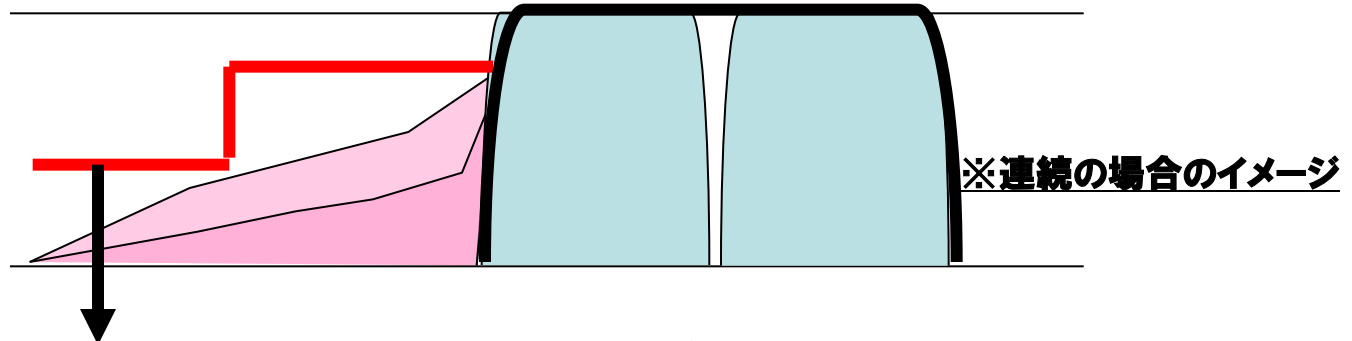
(隣接チャネル漏洩電力/スペクトラムマスク/スプリアス領域における不要発射強度)



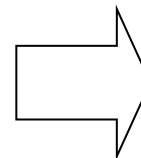
◆キャリアアグリゲーション時(BWA帯域外)

1波時の技術条件

(隣接チャネル漏洩電力/スペクトラムマスク/スプリアス領域における不要発射強度)



複数波を同時に行った場合も
1波時の技術基準を満たす



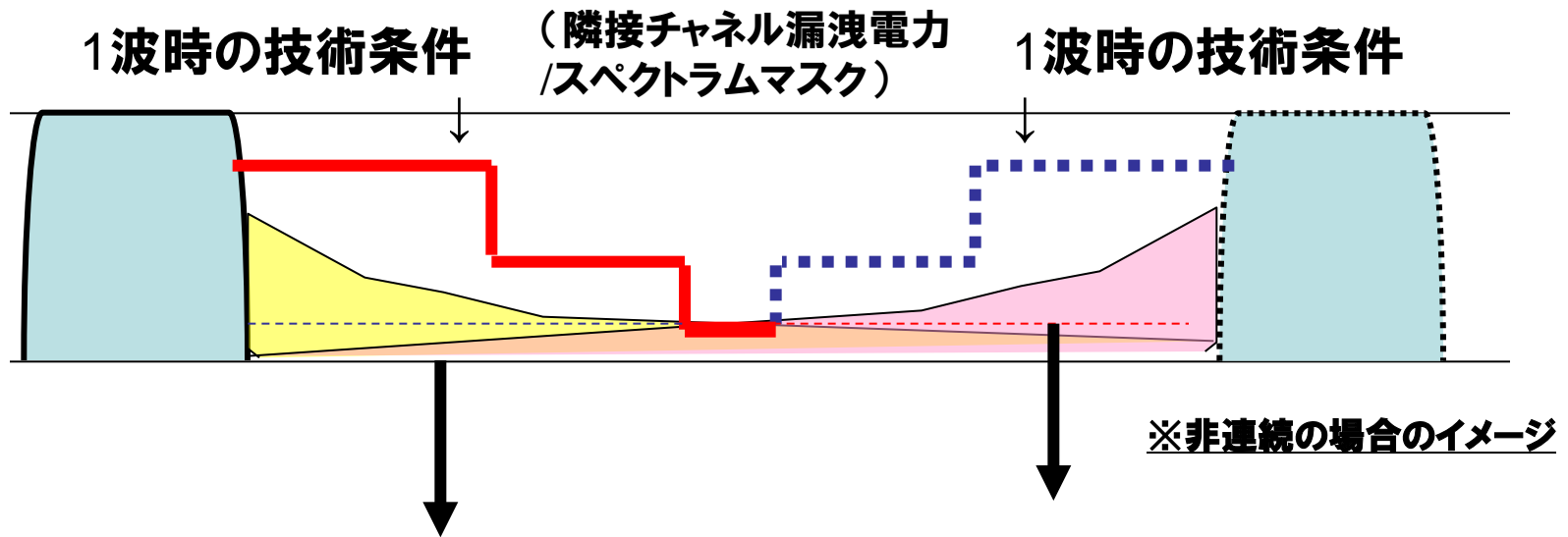
同時送信時の測定法の
整理

1送信装置場合のCA:BWA帯域内

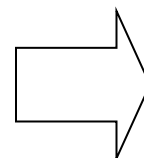
◆キャリアアグリゲーション時(BWA帯域内)

複数波同時送信

複数波同時送信



BWA帯域内は同時通信時もキャリアアグリゲーションの対象となる1波時の規定のどちらかを満たすこと



同時送信時の測定法の整理

XGP/WiMAX CAの技術的条件まとめ

<対象システム>

XGP/WiMAX

<対象アグリゲート周波数形態>

連続/不連続

<アグリゲート形態>

下り:のみ

<下りアグリゲート形態>

複数送信装置:それぞれの送信装置が現状1波時の規定を満たす

1送信装置:CA時(複数波同時送信時)も現状の1波時の規定を満たす

<測定法>

・「上り1波のみ」や「複数送信装置による下りCA」の場合の測定法は
現行測定法で対応可能

・「1送信装置による下りCA」の場合の測定については、CA時(同時送信時)の
下記項目の測定法の整理が必要

測定の整理が必要な項目:隣接チャネル漏洩電力/スペクトラムマスク

/スプリアス領域における不要発射の強度

※送信相互変調の測定については検討中